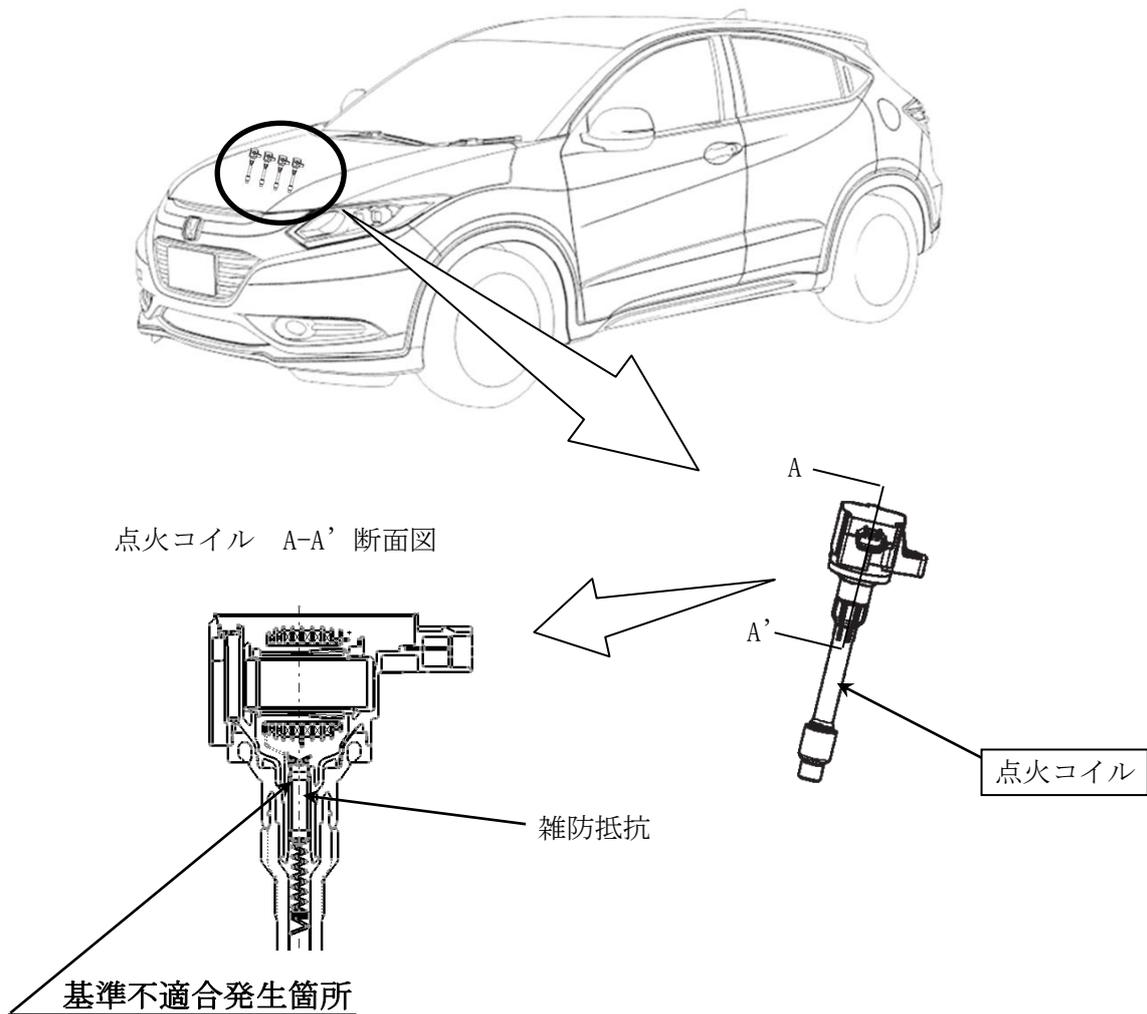


改善箇所説明図②



点火コイル内部の電気ノイズを除去する雑防抵抗の構造が不適切なため、一定車速での走行時に大きなアクセルペダル操作を繰り返すと、点火時の通電によるアーク放電により、当該抵抗末端部が断線するものがある。そのため、点火コイルの出力が不足してエンジン不調となり、エンジン警告灯が点灯するおそれがある。また、点火時に発生するノイズによりエンジン制御コンピュータが正しく制御できず、エンジンが停止するおそれがある。

改善の内容

全車両、点火コイルを対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：助手席ドアアップヒンジ上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。